

2015 大阪サウンドコレクション報告(2016.7.3)

7月3日から4日まで心斎橋ハートンホテルで開催された、2016 大阪サウンドコレクションに行ってきました。



出展社は下記サイト記載のとおりで、オーディオ評論家による特別講演とデモも行われましたが、特別講演は抽選に間に合わず聴けませんでした。

<http://www.taiyo-international.com/events/audioshow/img/2016osc2.pdf>

ESOTERIC の部屋では、KENSINTON に Prestige GR Super Tweeter を加えるデモが行われていましたが、特に音についての感想はありません。

アッカの部屋では、YG Acoustics の Sonja1.3 のデモが行われていましたが、いかにも昨今のハイエンドの極致と言った表現力が印象に残りました。

TAD の部屋では、TAD CE-1 のデモが行われていましたが、少し音の肌理が足りないような印象を受けました。

アキュフェーズの部屋では、凝った作りのアンプのボリュームの説明が行われていましたが、音を聴く時間がありませんでした。



ステラとゼファンの部屋ではちょうど評論家氏のデモが行われていましたが、部屋

がいっぱいで聴くことができませんでした。

太陽インターナショナルの部屋では、ナグラの CD プレイヤー、T+A のアンプ、ADAM の Classic MK3 シリーズのスピーカーのコラム MK3 のデモが行われていましたが、非常に精密な音がしていました。係の人に聴くと、このスピーカーはウイーン楽友協会のコントロールルームのモニターに使われているようで、いかにも高精度のモニターという印象です。展示で興味があったのが、T+A の DA コンバーターDAC8 DSD で、DSD と PCM に別のチップを搭載しており、DSD では 512s まで再生可能ということで、機会があれば音を聴いてみたいと思いました。

以上は駆け足で回っただけの印象ですが、ノアのデモは例年充実しているので、今回もじっくり聴くことにしました。最初は、DANIEL HELZ の M10 というスピーカーと M9 という Integrated AMP の組みあわせで、タブレットで Tidal というサイトからリアルタイムのストリーミングで受け、Bluetooth で M9 に飛ばすという面白いデモをやっていました。再生曲のジャンルや小型スピーカーのこともあって音質を十分に確認できませんでしたが、これからの配信サービスの充実に対応して新しい音源の楽しみ方という点で興味が惹かれます。



次にソナースファベールの IL CREMONESE に繋ぎ替え、アンプと CD プレイヤー、フォノイコはすべて BURMESTAR、アナログプレイヤーは FIREBIRD、カートリッジはベルギーの JAN ALLAERTS というカートリッジのラインアップで、CD とアナログが交互にかけられていきました。



アナログはフォノイコが定評のある BURMESTAR ということで、ちょっと普通には聴けないようなレベルの音がしており、カートリッジも初めて聴くものですが良

い印象を持ちました。CDの再生も如何にも肌触りの良い音でしたが、生音を知っている諏訪内晶子のストラディバリウス・ドルフィンは、心地良い音ではありますが、ちょっと生音とはギャップがあるという印象でした。

以上、製品として興味が湧いたのは、T+AのDAコンバーターDAC8 DSD、音として評価できたのは、JAN ALLAERTSというカートリッジです。また、再生方法として今後注目していくべきものは、ネットからのストリーミング再生でそのようなサイトのコンテンツがハイレゾで充実していくことが期待されます。